委員会名：国際交流委員会

委員長名：久保義弘

委員名簿（2023年2月現在）： 岡村康司、〇久保義弘、酒井秀紀、樽野陽幸、

西田基宏、西谷友重、西村幸男、渡部文子

**報告書作成日** 2023年2月9日

**報告事項**

[1] 第100回記念大会における国際交流委員会企画シンポジウムについて（改訂して再掲）

2023年3月の第100回記念大会（京都）における国際交流委員会企画のシンポジウムを3題企画し、採択された。海外講演者も含め、オンサイトで講演いただける予定である。

第100回記念大会ということもあり、IUPSおよびFAOPSとの連携の強化を目指し、講演者として、IUPS President (かつFEPS President), FAOPS President （かつKPS President）, AuPS President, NZPS Presidentを招待することとした。特に、IUPS連携分は、IUPSの打ち出すmajorな生理学会をまとめてハイライトし世界における生理学の振興を図るYear-of-Physiologyに参画している。環境と生理学を縦串の一つとしていることから、adaptative regulation をテーマとした。

招聘の旅費支援額は、遠方枠（ヨーロッパ、オセアニア）は25万円、近隣枠（韓国、中国）は15万円である。総額130万円が、日本生理学会本体から支出されることを承認いただいている。IUPS Presidentおよび FAOPS President は、大会冒頭の記念式典シンポジウムにも臨席いただく。その特別招聘旅費の一部に、シンポジウム講演者としての旅費が充てられる。

(1) FAOPS-PSJ joint symposium

タイトル：　 **Dynamics & homeostasis of organella/cellular function**

オーガナイザー： Motohiro Nishida (Japan), Chae Hun Leem (Korea, KPS President, FAOPS President)

講演者： Motohiro Nishida (Japan), Chae Hun Leem (Korea),

Satoshi Matsuoka (Japan), Yong Zhang (China)

(2) IUPS (YoP)-PSJ joint symposium

タイトル： **Adaptative regulation of muscle contraction in health and disease**

オーガナイザー： Yuji Hara (Japan), Susan Wray (UK, IUPS President, FEPS President)

講演者： Yuji Hara (Japan), Susan Wray (UK),

Robyn Murphy (Australia, AuPS President), Toshiko Yamazawa (Japan)

(3) IUPS (YoP)-PSJ joint symposium

タイトル： **Prenatal and perinatal physiology**

**- Adaptation to drastic environmental change**

オーガナイザー： Utako Yokoyama (Japan), Laura Bennet (NZPS President, IUPS Council)

講演者： Utako Yokoyama (Japan), Laura Bennet (NZ),

Chia-Wen Lin (Japan), Janna Morrison (Australia)

[2] FAOPS2023 Congressへの日本生理学会企画シンポジウムの提案（改訂して再掲）

FAOPS2023が、2023年11月1-4日にDague (Korea) にてオンサイト開催される。FAOPS2023事務局が、各国生理学会特別枠のシンポジウムを実施することを決定し、PSJに対しても、企画提出の依頼があった。PSJ執行部の依頼を受けて、国際交流委員会で相談し、加藤総夫先生（慈恵医科大学）、および和気弘明先生（名古屋大学、生理研）に企画を依頼した。両先生企画の下記2題をFAOPS2023に提出し、採択された。FAOPS2023からの旅費サポートは、1シンポジウムあたり、1,500 USDと限定的である。

(1) 各国PS特別枠の、PSJ 提案シンポジウム1

タイトル： **A new vista of physiological mechanisms of chronic pain**

オーガナイザー： Fusao Kato (Japan), Seog Bae Oh (Korea)

講演者： Alex Binshtok (Israel), Chien-Chang Chen (Taiwan), Yukari Takahashi (Japan),

Guo-Gang Xing (China), Choong-Wan (Wani) Woo (Korea)

(2) 各国PS特別枠の、PSJ 提案シンポジウム2

タイトル： **Physiological functions of glial cell for brain functions**

オーガナイザー： Hiroaki WAKE (Japan), Justin Lee (Korea)

講演者： Ikuko Takeda (Japan), Ryuta Koyama (Japan), Eunji Cheong (Korea),

Justin Lee (Korea), Wenbiao Gan (China)

[2] 第101回PSJ大会 (2024年3月) における国際交流委員会企画シンポジウム

大会長の上田陽一先生とのご相談により、2024年3月の第101回大会においても、国際交流委員会企画シンポジウムの枠を3ついただけることになり、企画の相談を進めている。海外講演者の招聘旅費としては、第99回大会（仙台）時の計画と同程度の、近隣枠（上限15万円）2件、遠方枠（上限25万円）1件、総計55万円を2024年度のPSJの予算に計上する予定とすることを、2022年12月の理事会で内諾いただいている。

**理事会への提案 （議事として諮りたいことをお書き下さい）**

無し